

県境連携による救急搬送シミュレーション訓練を実施しました

令和7年9月27日、広域連携体制の確認と強化を目的として、熊本県水俣市の国保水俣市立総合医療センターと、鹿児島・熊本県境に位置する消防本部（水俣芦北広域行政事務組合（熊本県）、当消防組合、阿久根地区消防組合、出水市消防本部）との合同救急搬送シミュレーション訓練を実施しました。

同センターでは、日頃から県境を越えた救急搬送が多く行われており、今回の訓練は、災害時を含む緊急対応に備え、顔の見える関係づくりと連携強化を図る初の試みとなりました。

訓練では、呼吸困難・意識障害・腹痛・院内急変などを想定した複数のシナリオに基づき、各機関が的確かつ迅速な対応を実施。搬送から処置までの流れや患者情報の共有、医療機関との連携体制を検証しました。

訓練後には振り返りの時間が設けられ、医師からの助言や改善点の共有を通じて、今後の対応力向上に向けた有意義な意見交換が行われました。

今後も地域住民の安心・安全を守るため、関係機関との連携を深め、災害時にも対応可能な体制づくりに努めてまいります。

